

京都産業大学

神山の絆

vol.5

学長メッセージ	1	研究所の紹介	8
京都産業大学 沿革	2	施設紹介 サギタリウス館	9
創立五十周年記念式典	3	新たな学びの空間	10
新グランドデザイン「神山STYLE2030」	5	京都産業大学が締結している主な協定先一覧	11
学校法人京都産業大学創立50周年記念事業 募金結果報告	6	数字でみる大学	12
現代社会学部新設	7	活躍する卒業生／活躍する在学生	13
		大学からのお知らせ	14



創立100周年への 新たな一步を

学長 大城 光正

2015(平成27)年11月27日に国立京都国際会館におきまして、本学の創立50周年記念式典と祝賀会を彬子女王殿下のご臨席、来賓並びに卒業生の皆様を含めた約2,000名の関係者のご参集のもと、無事に挙行することができました。このような式典と祝賀会を盛大に開催することができましたのも、日ごろからの本学に対する卒業生の皆様のご支援ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

当日の式典におきまして、本学の学長として、新グランドデザイン「神山STYLE2030」を発表いたしました。これは今後50年先の創立100周年を見据えた未来志向の大学構想の礎でありますと同時に、本学におけるこれから15年間の行動計画といえるものです。この行動計画の拠り所は、創設者荒木俊馬先生の崇高な「建学の精神」にあります。創設者の大学創設への熱い「思い」を決して忘れることなく、現代社会の現状把握と将来展望をいち早く看取しながら、先ずは15年後の2030(平成42)年における本学のあるべき大学像として「むすんで、うみだす。」を、また、育成すべき新たな学生像として「むすぶ人」をスローガンに掲げ、力強く改革に踏み出したところでもあります。そして、この行動計画を徹底的に実践していくために、改めて「むすびます宣言」を提唱しました。今後、「京都産業大学=むすび大学」と言われるまでに、徹底的に「有言実行」していく所存であります。

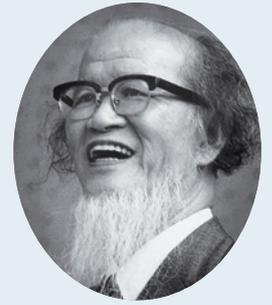
この4月には、理学部に「宇宙物理・気象学科」を新設いたしました。同学科は、私立大学では最大級の口径1.3mの反射望遠鏡(荒木望遠鏡)を有する神山天文台と連携した宇宙物理学・気象学の最先端の教育研究環境が特色であります。幸いにも、平成28年度入試では、予想以上に多くの志願者を集めて、順調にスタートを切ることができました(平成28年度入学定員40名に対して、志願者総合計2,165名)。更に、2017(平成29)年4月には、現代社会学部(入学定員:現代社会学科300名、健康スポーツ社会学科100名)の設置を予定しております。今後も社会の新たなニーズや環境変化を看取、精査しながら新学部の新設のみならず、既存学部・学科の再編も含めて専門教育の領域の拡大を図っていくつもりであります。

本学のこれまでの躍進は、卒業生の皆様の社会での活躍によって支えられてきたものであり、卒業生の皆様こそ大学にとって最も身近なステークホルダーであると確信しております。そのためには、今まで以上に同窓会との連携と情報の共有化が重要な課題であると思っております。本学と同窓会が新しいスローガンである「むすんで、うみだす。」のもと、強い絆でつながることで本学の学生の成長、更には進路・就職支援の強化につながることを期待しております。そして、今後も「神山の絆」誌が大学と卒業生、卒業生同士の貴重な「むすびわざ」として成長し、相互の交流がますます進展することを心より期待しております。

京都産業大学 沿革

- 1964年(昭和39年) 京都産業大学設立準備委員会を結成
- 1965年(昭和40年) 「学校法人京都産業大学寄附行為」認可
経済学部／理学部 設置
荒木俊馬初代学長に就任
- 1966年(昭和41年) 世界問題研究所 設置
- 1967年(昭和42年) 経営学部／法学部／外国語学部 設置
- 1968年(昭和43年) 計算機科学研究所 設置
- 1969年(昭和44年) 大学院 経済学研究科 経済学専攻 修士課程 設置
大学院 理学研究科 数学専攻、物理学専攻 修士課程 設置
理学部に応用数学科 増設
- 1971年(昭和46年) 理学部 学科名称変更(応用数学科→計算機科学科)
大学院 経済学研究科 経済学専攻 博士課程 設置
大学院 理学研究科 数学専攻、物理学専攻 博士課程 設置
- 1972年(昭和47年) 大学院 法学研究科 法学専攻 修士課程 設置
- 1974年(昭和49年) 大学院 法学研究科 法学専攻 博士課程 設置
- 1975年(昭和50年) 語学ラボラトリーセンター 設置
- 1977年(昭和52年) すみれ幼稚園 開園
大学院 外国語学研究科 中国語学専攻、言語学専攻 修士課程 設置
- 1978年(昭和53年) 国際言語科学研究所 設置
- 1984年(昭和59年) 教職課程講座センター／情報処理講座センター 設置
- 1986年(昭和61年) 現代体育研究所 設置
- 1989年(平成元年) 工学部 設置
ニュージーランドに日本語教育センター 開設
- 1990年(平成2年) 生涯学習教育センター 設置
- 1991年(平成3年) ニュージーランドに学术交流事務所 開設(日本語教育センターを改称)
- 1993年(平成5年) 大学院 工学研究科 情報通信工学専攻、生物工学専攻 修士課程 設置
- 1995年(平成7年) 大学院 工学研究科 情報通信工学専攻、生物工学専攻 博士課程 設置
日本文化研究所 設置
一般教育研究センター、英語教育研究センター、外国語教育研究センター、
体育教育研究センター 設置(教養部 改組)
- 1998年(平成10年) 国際交流センター 設置
- 1999年(平成11年) 次世代情報教育センター 設置
- 2000年(平成12年) 文化学部 設置
語学教育研究センター 設置
(英語教育研究センター、外国語教育研究センターを再編)
- 2001年(平成13年) 「建学の碑」建立
先端科学技術研究所 設置
総合学術研究所 設置
- 2002年(平成14年) 大学院 マネジメント研究科 マネジメント専攻 修士課程 設置

- 2003年(平成15年) 理学部 学科名称変更
(数学科→数理科学科 物理学科→物理科学科
計算機科学科→コンピュータ科学科)
教育エクセレンス支援センター 設置
リエゾンオフィス 設置
- 2004年(平成16年) 大学院 法務研究科(法科大学院) 法務専攻 専門職学位課程 設置
大学院 マネジメント研究科 マネジメント専攻 博士後期課程 設置
全学共通教育センター 設置
- 2005年(平成17年) 大学院 外国語学研究科 英米語学専攻 修士課程 設置
キャリア教育研究開発センター 設置
- 2006年(平成18年) 鳥インフルエンザ研究センター 設置
- 2007年(平成19年) 経営学部 にソーシャル・マネジメント学科、会計ファイナンス学科 増設
大学院 経済学研究科(通信教育課程) 経済学専攻 修士課程 設置
附属中学校・高等学校 開校
神山球技場 完成
第2課外活動棟 完成
- 2008年(平成20年) コンピュータ理工学部 設置
外国語学部 に国際関係学科 増設
益川敏英教授 ノーベル物理学賞受賞
- 2009年(平成21年) 法学部に法政策学科 増設
神山天文台／14号館／第5研究室棟 完成
益川塾 設置
- 2010年(平成22年) 総合生命科学部 設置
教育エクセレンス支援センターを教育支援研究開発センターに改称
15号館 完成
- 2011年(平成23年) 大学院 先端情報学研究科 先端情報学専攻 修士課程 設置
- 2012年(平成24年) むすびわざ館 完成
ミツバチ産業科学研究センター 設置
図書館自動書庫 完成
創立50周年記念事業「むすびわざDNAプロジェクト」始動宣言式典開催
- 2013年(平成25年) 大学院 法学研究科 法政策学専攻 修士課程 設置
大学院 先端情報学研究科 先端情報学専攻 博士課程 設置
植物ゲノム科学研究センター 設置
社会安全・警察学研究所 設置
フューチャーセンター 設置
万有館／雄飛館 完成
- 2014年(平成26年) 外国語学部 学科再編
(英語学科、ヨーロッパ言語学科、アジア言語学科、国際関係学科の4学科体制)
大学院 生命科学研究科 生命科学専攻 修士課程 設置
キャリア教育研究開発センターをコーオプ教育研究開発センターに改称
神山寮 完成
学祖荒木俊馬生誕地(熊本)に記念碑建立
- 2015年(平成27年) 文化学部 に京都文化学科 増設
大学院 法学研究科 法政策学専攻 博士課程 設置
- 2016年(平成28年) サギタリウス館 完成
理学部に宇宙物理・気象学科 増設
大学院 生命科学研究科 生命科学専攻 博士課程 設置
タンパク質動態研究所 設置
法教育総合センター 設置
コーオプ教育研究開発センターをキャリア教育研究センターに改称
体育教育研究センターを全学共通教育センターに統合



創設者・初代総長
荒木 俊馬



生誕の地記念碑(熊本県山鹿市)

京都産業大学学歌
 天地の関ヶし時や神々の鎮まりませる
 神山乃ち本山の産公業哉或勤ほく
 日送りしやわれら若人
 次の代のやが日の本を擔いで立たむ
 天の何休極み岩燦のさ暖く極み
 有りとも有る全人類の幸福と平和の爲に
 わが命 捧げて惜いぬ
 現身の形造りにわれら勵まむ
 鋼鉄を身と錬え黄金を精神を磨き
 新珠の真理と実の剛健の意氣高らかに
 天翔る希星を抱き
 五大洲七の洋に雄飛し行かむ

荒木俊馬作詞
 園伊藤慶作曲

2015(平成27)年11月27日、創立50周年式典が国立京都国際会館で挙行政され、滞りなく盛況に終えたことをご報告するとともに、卒業生の皆様方のご支援・ご協力を賜りましたことを厚くお礼申し上げます。当日は、御来賓や御招待者、また卒業生・在校生、本学関係者など約2,000名が集い、ともに創立50周年を祝いました。



第一部 記念式典

第1部 記念式典では、柿野理事長の主催者代表挨拶に続き、彬子女王殿下、山田 啓二京都府知事(代理：山下 晃正京都副知事)、門川 大作京都市長、立石 義雄京都商工会議所会頭から、来賓祝辞を頂きました。

また馳 浩文部科学大臣には、公務御多忙の中、本学に向けたビデオメッセージによる祝辞を頂きました。記念式典では、大城 光正学長より2030(平成42)年に向けた中長期計画である「**神山STYLE2030**」を発表、また新たな大学ロゴ、大学像「**むすんで、うみだす。**」、学生像「**むすぶ人**」を発表し、今後の更なる飛躍を誓いました。

第2部 記念祝賀会では、オープニングイベントとして、卒業生 能楽師 青木 道喜氏による「**菊慈童**」を披露しました。また伊吹 文明衆議院議員、楠見 晴重日本私立大学連盟副会長、岩井 一路京都産業大学同窓会会長から来賓祝辞を頂きました。そして、全學應援團による演舞披露がおこなわれ、大学と来場者の方々に向けたエールを送りました。

多くの御来賓、御招待者と共に創立50周年を迎えられたことへの感謝と今後の発展に向けた決意を誓う記念式典・記念祝賀会となりました。



西陣織展示(国旗・学旗・肖像織)



メインホール(開式前)



主催者代表挨拶 柿野 欽吾理事長



彬子女王殿下からのお言葉



新ブランドデザイン発表



新ブランドデザイン発表 大城 光正学長

第二部 記念祝賀会



オープニングイベント 演目「菊慈童」



歓談



全学応援団演舞(リーダー部・チアリーダー部・吹奏楽部)



学歌斉唱

創立50周年における記念品のうち、
「神山STYLE-Anniversary Message-(活躍する卒業生50人のメッセージ特集)」冊子をご希望の卒業生には、下記の要領にて、先着順(500人)で配布させていただきます。

掲載者

泉谷直木(アサヒグループホールディングス株式会社 代表取締役CEO)、伊藤舞(大塚製薬 陸上競技部所属)、大畑大介(スポーツキャスター)、谷口キヨコ(ラジオDJ・タレント)、ハイヒールリング(漫才師・タレント)、平野佳寿(オリックス・バファローズ プロ野球選手)等。

希望者は、下記宛に申し込んでください。

〒603-8555 京都市北区上賀茂本山 京都産業大学学長室 「神山スタイル希望」と記載してください。
(送料代300円は、切手にて同封してください)

2030年京都産業大学があるべき姿を目指して

「神山STYLE2030」

京都産業大学は、2015(平成27)年に創立50周年を迎えました。

この大きな節目の年をこれからの50年を見据えたさらなる飛躍への契機と位置づけ、2030(平成42)年に本学のあるべき姿を描き、我々が目指す大学像を現実のものとするため、新グランドデザイン「神山STYLE2030」を策定しました。

むすんで、うみだす。

大学
像

むすぶ人

学生
像

「学問」と「社会」「企業」「自然」をむすぶ大学

「京都」と「日本・世界の諸地域」をむすぶ大学

「むすぶ人」をうみだす大学

「人」と「人」をむすぶ

「知識」と「実践」をむすぶ

「京都」と「日本・世界の諸地域」をむすぶ

改めて徹底的に “むすび”ます宣言

京都産業大学は1965(昭和40)年に設立されました。産業を「むすびわざ」と読み、当時としては画期的な「学問と企業をむすぶ」ことを建学の理念にしました。京都産業大学のアイデンティティは、まさにこの「むすぶ」に集約されるのです。

「むすぶ」は「むす」から派生した語であり、「うみだす」という意味をもちます。何かと何かをむすぶと、化学反応がおきて、新しい何かがうみだされます。地球も、人も、あらゆる生物も、人類がうみだしてきた文化や発明も天地、万物はすべて、何かと何かむすびついてうみだされました。

創立50周年を迎えた今、私たちはこの原点に立ち戻ろうと思います。京都産業大学は、改めて徹底的に「むすぶ」ことを宣言します。

学校法人京都産業大学創立50周年記念事業募金 結果報告

学校法人京都産業大学創立50周年記念事業募金は、2015(平成27)年に京都産業大学が創立50周年の節目を迎えるにあたり、募金記念事業として学生・生徒の支援及び卒業生との交流を掲げ、寄付金により「サギタリウス基金」を設立することを目的として、2012(平成24)年1月から募集を開始し、2016(平成28)年3月末日をもって終了いたしました。

この間、募金趣旨にご賛同いただいた多くの皆様から貴重なご寄付を賜り、募金総額は7億6,050万9,000円となりました。皆様からのご芳志に感謝し、厚く御礼申し上げます。

今後は、皆様から賜りましたご寄付による「サギタリウス基金」をもとに、学生・生徒の支援事業として「新たな給付奨学金制度」を発足させるとともに、国内だけでなく国際的に活躍された卒業生向けの「卒業生顕彰制度」を創設し、これらの資金として有効に活用させていただきます。

新たな給付奨学金制度

1. グローバル人材育成のための「グローバル人材支援奨学金」
2. 荒木俊馬奨学金
 - (1) 祖父母、父母が本学卒業生の在学学生を対象とする「2世代・3世代支援奨学金」
 - (2) 本学に同時在学の弟妹を対象とする「同時在学支援奨学金」
 - (3) 附属中学校出身者で附属高等学校(KSUコース)進学者、附属高等学校(KSUコース)出身者で本学進学者を対象とする「KSUコース支援奨学金」
 - (4) 「学祖 荒木俊馬をたずねて」のフィールドワーク参加学生を対象とする「フィールドワーク支援奨学金」
 - (5) 自宅外通学者の1年次生を対象とする「自宅外通学者支援奨学金」

卒業生顕彰制度

「スポーツ活動を通じて本学の名声を高めた卒業生」「文化活動、学術活動を通じて本学の名声を高めた卒業生」「その他、社会での業績が顕著な卒業生」を顕彰する制度

寄付者の方への顕彰

ご寄付を賜りました皆様方のご芳志に感謝し、芳名録を作成いたします。また、個人・企業等からの一定額以上のご厚志に対しまして、銘板に刻銘し末永く顕彰させていただきます。

学校法人京都産業大学創立50周年記念事業募金結果報告

募集期間 2012(平成24)年1月1日～2016(平成28)年3月31日

寄付者区分	件数	金額
個人	2,687件	161,612,108円
企業・団体	176件	598,896,892円
合計	2,863件	760,509,000円

2017年
4月

現代社会学部が 誕生します！^{*}

※設置申請中(内容は予定であり、変更が生じる場合があります)

視点を変えれば、世界は変わる。

現代社会学科

社会を変革するために、
3つの視点から現代社会をとらえる

現代社会学科では、「地域社会学」「人間社会学」「メディア社会学」の3つのコースを用意。多様な視点から社会を見つめ、一人ひとりが生きやすい豊かな社会の創造をめざします。

地域社会学 コース

コミュニティから
社会を変える

人間社会学 コース

人と人の関係を見直し、
豊かな社会づくりへ

メディア社会学 コース

コミュニケーションの
これからに挑む

健康スポーツ社会学科

スポーツが持つ価値を探り、
健康で活力ある社会づくりに挑む

より良い社会を創るためには、健康スポーツの視点が欠かせません。健康スポーツ社会学科では、「健康スポーツ社会」「健康スポーツ科学」の2つの分野を、将来の進路に応じて学ぶことができます。多様な視点から社会を見つめ、人々が心身ともに健康な社会の創造をめざします。

中学校・高等学校(保健体育)の教員免許が取得可能^{*}

※2017(平成29)年4月教職課程認定(申請中:ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります)

TOPICS

現実社会の課題解決に挑む 「プロジェクト演習」



国内外のフィールドに飛び出し、学科を横断したさまざまな仲間と一緒に一つの課題に複数年じっくり取り組み、在学中から社会を変えていきます。

社会の名リーダーたちが来学 「神山STYLEリーダーシップ論」



企業や自治体などで活躍のリーダーたちを招き、多彩なリーダー像を学びます。討論も実施し、直接意見を交え、自分の資質を磨きます。

現代社会学を活かす、活躍フィールド【就職・進路・未来像】

現代社会学科

- 地域に根づくNPOで街おこし
- メディアを活用して社会を変える社会起業家
- コンサルタントとして人間関係の観点から組織改革 など

〈取得可能な資格〉

- 社会調査士 ●中学校教諭一種免許状(社会)^{*}
- 高等学校教諭一種免許状(公民)^{*} ●図書館司書
- 学芸員 ●学校図書館司書教諭 など

健康スポーツ社会学科

- スポーツ指導者として人々の健康スポーツをサポート
- ジャーナリストとしてスポーツの魅力を発信
- 教員として、健康スポーツのあり方を子どもたちへ指導 など

〈取得可能な資格〉

- 社会調査士 ●公認スポーツ指導者
- 中学校・高等学校教諭一種免許状(保健体育)^{*}
- 図書館司書 ●学芸員 ●学校図書館司書教諭 など

※2017(平成29)年4月教職課程認定(申請中:ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります)

研究所の紹介

本学の6つの研究所(日本文化研究所、世界問題研究所、先端科学技術研究所、タンパク質動態研究所、総合学術研究所、社会安全・警察学研究所)では、学術の進歩発展に寄与することを目的に、学際的、総合的な共同研究調査、研究調査に必要な資料、参考文献等の収集及び管理、国内外の大学及び研究機関との学術・研究交流、学術誌の刊行、研究発表会、講演会及びシンポジウムの開催などの事業を行っています。

世界問題研究所

世界問題研究所は、世界が直面する政治、経済の対立と調和の問題に関する学際的、総合的な共同研究調査を推進し、日本の国際的な貢献に資するとともに、学術の進歩発展に寄与することを目的としています。

プロジェクト名	研究代表者	研究期間
秩序転換期における日本外交の論理と課題	東郷 和彦	H28.4.1 ~H31.3.31

社会安全・警察学研究所

「社会生活の安全のために政府、地方自治体、コミュニティはどのように協働すべきか」、「社会安全確保の核となる警察はどうあるべきか」についての理論的基盤に基づき、多領域、多機関の連携をコーディネートする場としての機能を果たすことを目的とし、研究を進めます。

プロジェクト名	研究代表者	研究期間
コミュニティと多機関の連携による親密圏内の犯罪予防・立ち直り支援	田村 正博	H28.4.1 ~H31.3.31

日本文化研究所

日本文化研究所は、日本の文化、経済・産業、社会等を重点とする学際的、総合的な共同研究調査を推進し、地域活性化に貢献するとともに、学術の進歩発展に寄与することを目的としています。

プロジェクト名	研究代表者	研究期間
京都の風土と文化が日本人の美意識の形成に及ぼした影響に関する研究	小林 一彦	H28.4.1 ~H31.3.31

総合学術研究所

総合学術研究所は、各専門領域及び学際領域におけるプロジェクト方式による研究を推進し、本学の研究活動の強化及び教育研究分野への展開に資するとともに、学術の進歩発展に寄与することを目的としており、人文科学、社会科学、理工学系、複合領域の4部門を置きます。

タンパク質動態研究所

タンパク質動態研究所は、生命活動を担う最重要分子であるタンパク質の合成・分解および他の因子との相互作用の解析などを通じて、学術の進歩発展に寄与し、その成果を社会に還元するとともに、人類の抱える多くの病態解明とその克服を目指すことを目的としています。

プロジェクト名	研究代表者	研究期間
タンパク質動態制御による細胞機能発現と恒常性維持機構の解明	永田 和宏	H28.4.1 ~H31.3.31

先端科学技術研究所

先端科学技術研究所は、先端科学分野の研究を推進し、学術の進歩発展に寄与することを目的としています。

- 鳥インフルエンザ研究センター
- ミツバチ産業科学研究センター
- 植物ゲノム科学研究センター

「法教育総合センター」開設

2016(平成28)年4月1日、むすびわ館に「法教育総合センター」を開設しました。法教育総合センターは、「社会に開かれた法教育の実践事業」、「アジアを中心とする外国の若手法曹等との連携事業」および「資格取得の教育支援事業」を柱として、法律関連分野に携わっている方を対象とした研究会や、学生および一般の方を対象とした講座の開催、法教育に資する教育方法や教材の開発、資格取得のための法学教育支援等を行います。

開設記念シンポジウム	開催日		タイトル
	第1回	4月30日(土)	「大学で法を学ぶ意義」
	第2回	8月5日(金)	「日中の児童保護に関する法とその課題」

サギタリウス館

SAGITTARIUS - KAN

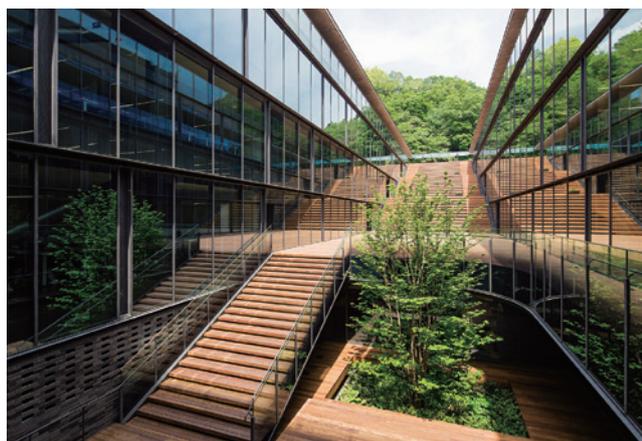
本学最大となる学舎『サギタリウス館』完成

学内最大の延床面積となる新学舎「サギタリウス館」を2016(平成28)年3月18日に竣工しました。

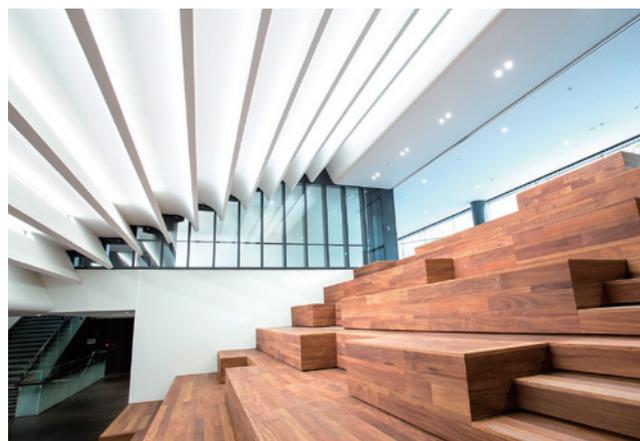
サギタリウス館の1階に設置した、楽しみながら学べる「多言語・多文化共生空間」“Global Commons(グローバル コモンズ)”のほか、アクティブ・ラーニング型教育を積極的に行うための教室仕様が特徴です。



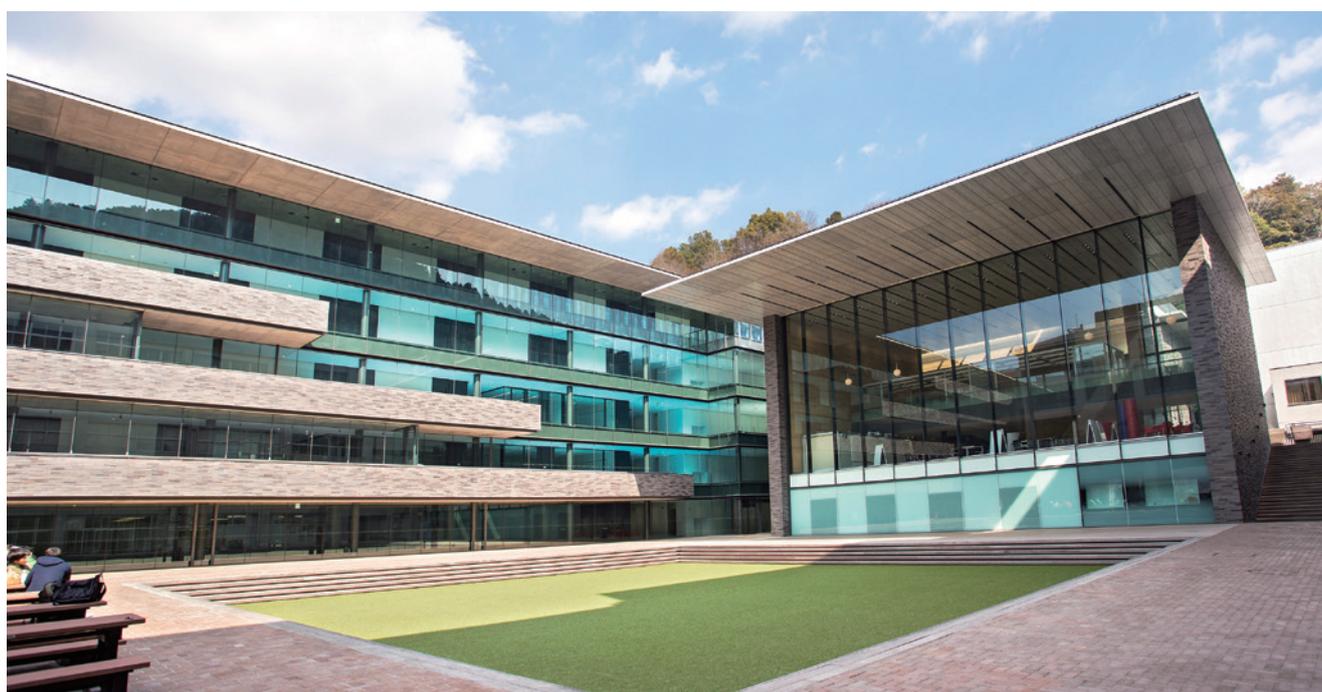
サギタリウス館から船山を望む



北棟・南棟間の大階段



階段状の語らいのスペース



左：サギタリウス館 正面：雄飛館

新たな学びの空間

グローバルコモンズ

Global Commons



レセプションカウンター

外国語学習や留学関係、海外の文化を紹介したガイドブックの資料が利用できます。専門職員による英語個別学習支援も申し込めます。



DVDブース

各国言語のDVDやCDが利用できます。映像や音楽を使って、楽しみながら語学の学習ができます。

楽しみながら学ぶ「多言語・多文化共生空間」「グローバルコモンズ」
グローバルコモンズでは、本学外国語学部の専攻言語+ベトナム語の11言語に関わる書籍やDVDが閲覧できるほか、日常の中で楽しみながら多言語・多文化に触れることができる、とても刺激的な空間となっています。また、外国語の会話ラウンジや専門職員によるワークショップ、その他、留学生による母国の紹介イベントなど、授業以外で気軽に外国語に親しむ機会を提供することで、学生自らが外国語や外国文化を習得する活動の支援を行っています。

ラーニングコモンズ

Learning Commons



クリエイティブスペース

L字型のソファと大型ホワイトボードを配置しており、対話をより重視したグループワークを実施することができます。



ICTカウンター

情報機器の操作に詳しい専門の学生スタッフが常駐し、ノートパソコン、iPad miniなどのICT機器の貸出のほか、ICT機器に関するトラブルにも対応しています。

学生同士が刺激を与え合い、知的に成長するための「共創空間」「ラーニングコモンズ」

雄飛館2階・3階に設置されたラーニングコモンズには、ディスカッションやプレゼンテーションといった多様な学習スタイルを実現するための環境が整えられています。ここでは、学生同士が切磋琢磨しながら主体的な学習活動に取り組んだり、その日の学習目的や気分に合わせて最適なエリアを選び自由に利用することができます。



学習支援カウンター

専門職員が常駐しており、レポート作成やプレゼンテーション準備の際、疑問に思うことを相談できます。相談は30分単位、予約制です。



ラーニングスペース(チーム作業)

32インチモニターとホワイトボードを配置しており、ノートPCなどを利用して作業画面を投影し、グループで確認しながらデータ作成を行うことができます。

京都産業大学が締結している主な協定先一覧

■ 包括協定先 ■

本学では地域（ローカル）に根差しながらグローバルな視点で活躍する「グローバル」な人材育成のため、教育研究のフィールドとなる地域との連携協力に関する協定を締結しています。地域と大学相互の人的・物的・知的資源を活用し、地域の振興やこれを支える地域の人材育成に寄与する教育・研究を展開します。

連携協力に関する包括協定先・締結日(2016(平成28)年6月現在)

京都府井手町	2013(平成25)年8月15日
京都府宮津市	2014(平成26)年3月19日
三重県いなべ市	2014(平成26)年8月27日
熊本県山鹿市	2014(平成26)年9月30日
京都府綾部市	2015(平成27)年4月20日
香川県土庄町	2015(平成27)年11月5日
京都府京丹後市	2015(平成27)年12月21日



京都府綾部市との協定



三重県いなべ市での活動

■ 就職支援協定先 ■

地元(Uターン)就職を希望する学生に対し、自治体と大学が連携協力して学生の就職支援を推進するため、本学は、2015(平成27)年度より就職協定の締結を始めました。協定を締結することにより、地元のインターンシップや企業情報の充実を図るとともにUターンの魅力を発信し、低年次からの進路支援をさらに拡大し、地元で活躍できる人材の育成を行う予定です。現在までに、就職協定を締結した県は、次のとおりです。

就職支援に関する協定先・締結日(2016(平成28)年7月現在)

福井県	2015(平成27)年8月31日
香川県	2015(平成27)年11月5日
滋賀県	2016(平成28)年2月2日
石川県	2016(平成28)年2月26日
徳島県	2016(平成28)年3月2日
岡山県	2016(平成28)年7月1日
広島県	2016(平成28)年7月22日



徳島県との協定

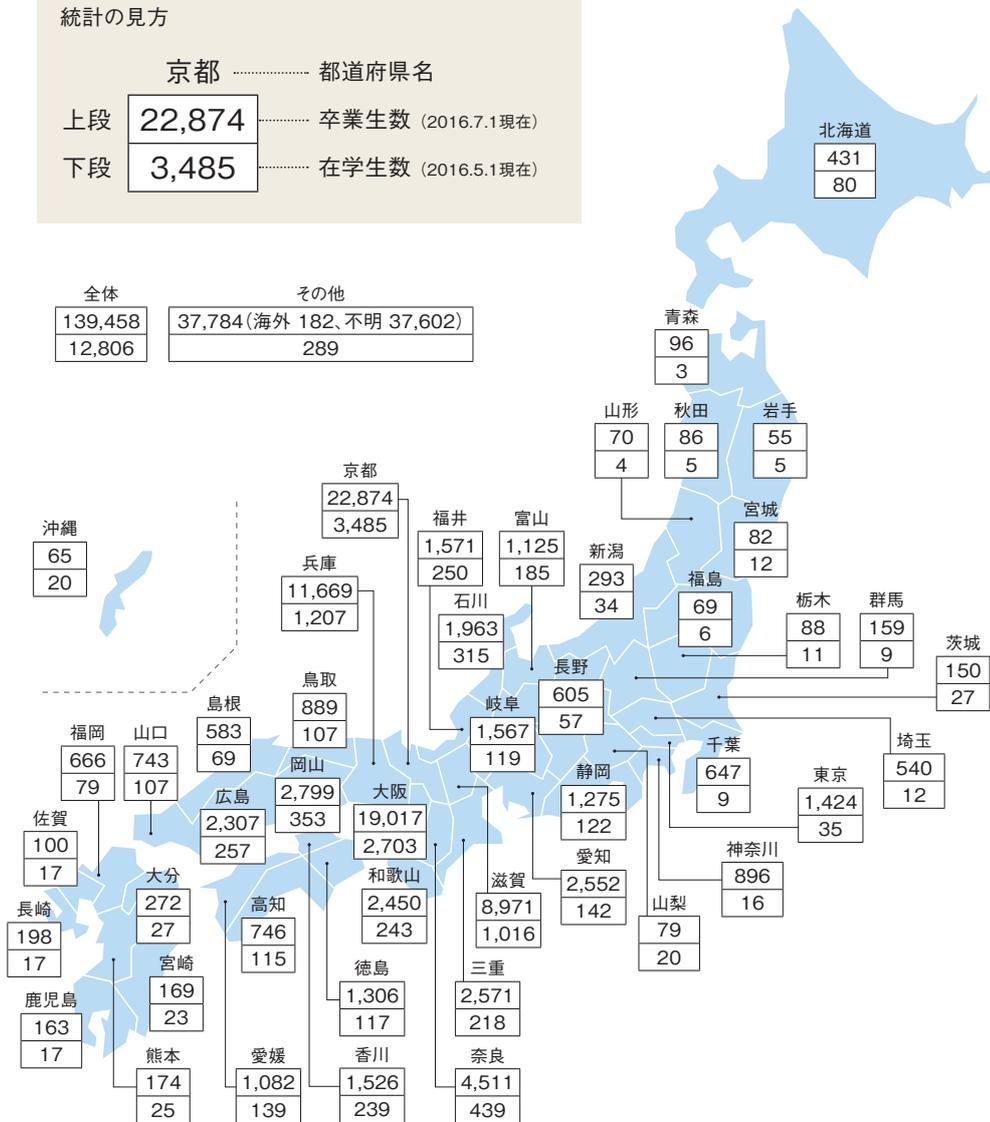
数字でみる大学

卒業生数・在学生数

統計の見方

京都	都道府県名
上段	22,874 卒業生数 (2016.7.1現在)
下段	3,485 在学生数 (2016.5.1現在)

全体	その他
139,458	37,784(海外 182、不明 37,602)
12,806	289



都道府県別志願者数

都道府県名	志願者数	(内女子数)
北海道	266	84
青森	36	28
岩手	11	9
宮城	25	11
秋田	5	5
山形	41	17
福島	32	8
茨城	85	35
栃木	116	28
群馬	59	25
埼玉	105	18
千葉	61	17
東京	248	64
神奈川	104	22
新潟	120	34
富山	565	212
石川	957	347
福井	982	335
山梨	49	5
長野	255	122
岐阜	397	115
静岡	639	231
愛知	847	241
三重	982	303
滋賀	4,405	1,314
京都	9,062	2,433
大阪	10,813	2,777
兵庫	5,198	1,199
奈良	1,708	545
和歌山	1,147	256
鳥取	525	232
島根	298	100
岡山	1,109	294
広島	1,091	286
山口	404	147
徳島	443	94
香川	937	288
愛媛	474	137
高知	328	105
福岡	388	104
佐賀	60	26
長崎	32	3
熊本	53	7
大分	97	48
宮崎	84	51
鹿児島	104	24
沖縄	60	30
高認	282	54
外国	132	50
指定	0	0
認定	38	13
在外	4	0
専修学校	13	0
合計	46,276	12,933

(2016年度)

卒業生数、在学生数は

2016年3月までの大学の総卒業生数は139,458人で、1969年3月の第1期生の卒業生数がわずか575人でした。在学生数は、開学当初は1学年697人だった学生数は、現在までに大学院生数合わせて約13,000人までに増えました。神山の一拠点キャンパスに約13,000人余りの学生が集うのは、総合大学としての京都産業大学ならではの長特です。

入学志願者数は

2016(平成28)年度入試の志願者総数は、46,276人でした。前年度に比べ、公募推薦入試、一般入試[前期日程]、[中期日程]、[後期日程]のいずれの入試においても、募集定員の多い学部を中心に増加し、前年度比12.0%(4,958人)の大幅な増加となりました。増加の理由としては、理学部宇宙物理・気象学科の新設やインターネット出願の継続、大学広報と連携した入試広報の浸透などを挙げることができます。

活躍する卒業生

伊藤 舞さんが リオデジャネイロ五輪代表に内定

2015(平成27)年8月30日、中国・北京で開催された「世界陸上競技選手権大会」の女子マラソンにおいて、本学卒業生で陸上競技部OGの伊藤 舞選手(2007(平成19)年法学部卒:大塚製薬所属)が2時間29分48秒で7位に入賞しました。今大会は、来年のリオデジャネイロ五輪に向けた最初の選考レースであり、伊藤選手は日本勢最上位で入賞し、見事リオデジャネイロ五輪代表に内定しました。



伊藤 舞選手



恩師 陸上競技部 伊東 輝雄監督からの花束を受ける



北園 新光選手



激励会で花束を受ける

北園 新光さんが リオデジャネイロパラリンピック 代表に内定

リオデジャネイロパラリンピックの柔道の代表選考会が行われ、本学卒業生の北園 新光さん(2014(平成26)年文化学部卒:アルケア所属)が男子73kg級の日本代表に内定しました。本学在学中に出場したロンドンパラリンピックに続いて2回目の出場となる今回、メダル獲得が期待されます。

本学関係者の 過去のオリンピック 出場者

荒木 雄豪氏(本学教員)	ローマ大会(1960(昭和35)年)、メキシコ大会(1968(昭和43)年) 馬術競技で出場
松岡 義之氏(1979(昭和54)年卒)	ロサンゼルス大会 (1984(昭和59)年) 柔道男子65kg級で金メダル
小坂田 淳氏(1997(平成9)年卒)	アトランタ大会 (1996(平成8)年) 陸上1600mリレー5位入賞
	シドニー大会 (2000(平成12)年) 陸上400mリレー出場
	アテネ大会 (2004(平成16)年) 陸上400mリレー出場
轟 賢二郎氏(1999(平成11)年卒)	アテネ大会 (2004(平成16)年) ヨット男子470級で銀メダル

伝統と実績のグリークラブ

1965(昭和40)年創部。1968(昭和43)年本学合唱同好会が当団体と混声合唱同好会に分団した際に創設。同年に第1回定期演奏会を行い、翌年には京都合唱祭と関西合唱コンクールに初めて出場。

1981(昭和56)年に全日本合唱コンクールにて金賞を受賞。

1981(昭和56)年～1989(平成元)年 全日本合唱コンクール金賞1位。

1991(平成3)年～1995(平成7)年 全日本合唱コンクール金賞を受賞。

※1982(昭和57)年1月に、京都産業大学グリークラブ定期演奏会で、現役とOB合同ステージを契機として、OB会有志約200名によるOB合唱団、「京都産業大学グリークラブOB会 男性合唱団ARCHER(アルシェ)」を発足し、以後、全国各地で活動をされています。2016(平成28)年6月19日には、クラブ創立50周年を祝い、ロームシアター京都にて、ARCHER第7回演奏会が開催されました。



活躍する在学生

硬式野球部が関西六大学野球連盟の春季リーグで優勝! 全日本大学野球選手権記念大会に出場しました!

2016(平成28)年5月27日、南港中央野球場にて、関西六大学野球連盟「平成28年度春季リーグ」のプレーオフ試合が実施され、本学の体育会硬式野球部が大阪商業大学に勝利し、優勝。これにより春季リーグの優勝校として、「第65回全日本大学野球選手権記念大会」へ出場を果たしました。試合結果等は本学ホームページ等で、ご確認ください。



陸上競技部

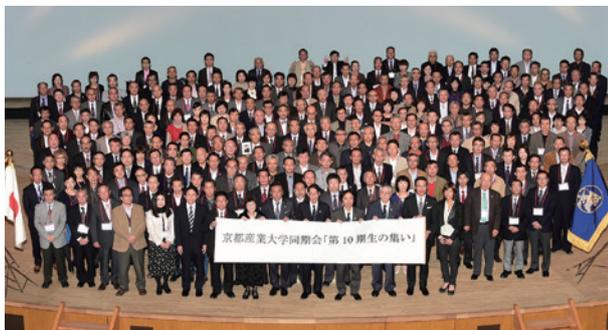
「全日本大学駅伝対校選手権大会」に4大会連続44回目の出場が決定!

6月18日、西京極陸上競技場において「第48回全日本大学駅伝対校選手権大会(11月6日 名古屋～伊勢)」の関西予選会が行われ、本学の陸上競技部は総合2位となり、出場が決定しました!また、この結果により上位二校に与えられる「第28回出雲全日本大学選抜駅伝競走(10月10日 出雲)」の出場権も獲得しました!

京都産業大学同期会の開催

(第11期生<1975(昭和50)年入学>の集い)

本学ではこれまで還暦等を迎えられる2006(平成18)年第1期卒業生(昭和40年入学)から毎年、同期会を開催しています。本学に入学、学生生活を経て卒業後、社会人としてあらゆる分野でご活躍されてこられた方が、還暦・定年等を迎えられる機会に、社会人への出発点(原点)であった母校京都産業大学にお迎えし、お祝いするとともに、新たな人生の出発にエールを送っています。



第10期生の集い(2015.11.1)

京都産業大学主催同期会 「第11期生の集い」の開催案内

日時: 2016(平成28)年11月6日(日)

※ 神山祭は11月4日~11月6日まで開催。

10:30~ 受付 11:00~ 式典

12:00~ 懇親会 14:00 終了

対象者: 1975(昭和50)年4月入学後、卒業された方。

※当日は、記念品贈呈、全学応援團演舞、グリークラブOB会合唱等、お楽しみいただける企画を盛りだくさん予定しています。

※詳しくは、8月頃に該当者に対して大学から案内文を送ります。

※駐車場はありませんので、公共交通機関を利用してお越し下さい。

第51回神山祭

11月4日(金)5日(土)6日(日)

テーマ「VISCARIA」

VISCARIA(ビスカリア)は美しい青紫色の花。花言葉は「望みを達成する情熱」。神山祭に訪れる全ての人が、それぞれの望みを乗せて、1つの祭を創り上げる。そんな神山祭に熱く美しい情熱が渦巻くことを願って。

ホームカミングデー

日時 11月4日(金)5日(土)6日(日)

10:00~16:00

会場 京都産業大学 並楽館4階
BABY FACE PLANET'S

催物 ●喫茶コーナー(ケーキ・飲み物サービス)
●キャンパスグッズ販売 ●抽選会 など

ホームカミングデーとは? 本学卒業生の皆様に母校(ホーム)へ帰っていただき、楽しんでもらう!という催しで、毎年約1,000名の方々にご来場いただいております。神山祭という大学内が輝く時期に、学生時代の仲間やご家族と是非お越しください。私たち同窓会スタッフ一同がお待ちしております。そして、ご来場いただいた方々には、オリジナル卓上カレンダーをプレゼント!

お問い合わせ先 京都産業大学同窓会事務局

〒603-8076 京都市北区上賀茂山本町37

電話: 075-701-8407 メールアドレス: ksu-doso@wine.ocn.ne.jp

住所の登録・変更のご案内

大学では、卒業時にご記入いただいた卒業生カードの個人情報を元に、住所、勤務先等を記録し、この登録された住所により、大学または同窓会から各種情報を提供させていただいています。しかしながら、卒業後、結婚、引越、勤務先の変更等で、住所が変更となられた後、住所変更のご連絡をいただいている方は、住所不明の扱いとなり、卒業生向け情報誌「神山の絆(大学発行)」や「同窓会報(同窓会発行)」などが届いていない状況となっています。今回、お知り合いの卒業生の方で、卒業生向け情報誌が届いていない方をご存じでしたら、ご本人に対し大学へ住所変更をお勧めいただきますようお願いいたします。

住所、勤務先等が変更となった場合、
次の方法で住所変更ができます。

- 大学ホームページ > 京都産業大学 > 卒業生の方 > 住所変更 > 住所変更届のホームページ: <https://jweb.kyoto-su.ac.jp/s/juusho/>
※同窓会が発行しています「同窓会報」が届いていない方は、同窓会事務局へご連絡をお願いします。
- 京都産業大学同窓会事務局
電話: 075-701-8407
メールアドレス: ksu-doso@wine.ocn.ne.jp

メールアドレスの登録のご案内

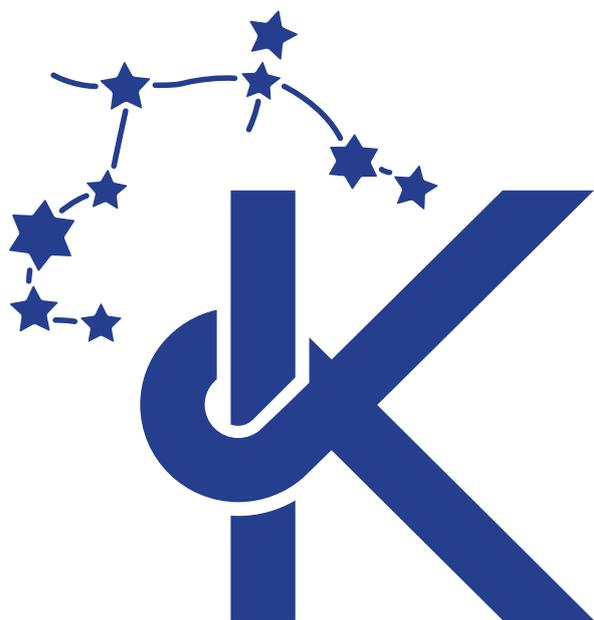
本学では卒業生とのコミュニケーションツールとして、登録されましたメールアドレスを活用し、大学からの各種案内(学生スポーツ、生涯学習講座等)を積極的に発信をしていく予定です。この機会に、各自のメールアドレスの登録をお願いします。メールアドレスの登録・変更は、上記の住所変更届にて可能です。

ご感想を
お聞かせください

今回の「神山の絆」(第5号)では、①「創立50周年記念事業報告」②「神山STYLE2030メッセージ」などをメインに編集を行っています。今後の「神山の絆」の発行に関して卒業生の方から、忌憚のない声をお聞かせください。

ご感想等は、下記のメールアドレスに送っていただきますようお願いいたします。

学長室(連携推進担当): renkei-tanto@star.kyoto-su.ac.jp



ロゴマーク

ロゴマークのコンセプトは、京都産業大学の「K」、神山の「K」、むすびわざをデザインした「K」マークとサギタリウス(射手座)マークを融合させたデザインであり、「新たな価値を創造する(むすびわざ)神山のキャンパスに希望の星が輝く」という思いを込めています。



経済学部 経営学部 法学部 外国語学部 文化学部 理学部 コンピュータ理工学部 総合生命科学部 大学院

発行: 京都産業大学 学長室 連携推進担当 〒603-8555 京都市北区上賀茂本山 TEL.(075)705-2952

<http://www.kyoto-su.ac.jp/>